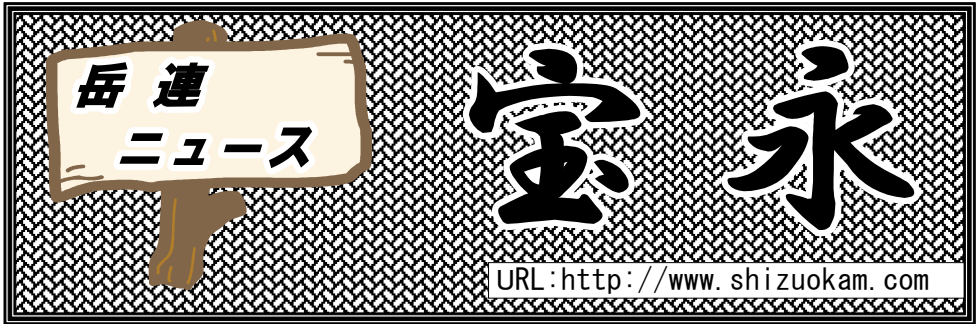




静岡県山岳連盟

〒420-8076

静岡市駿河区八幡3-1-17

TEL (FAX) 054-288-7512

編集発行/総務委員会

令和1年6月10日発行

第29号



滝田会長挨拶

19年度の通常総会が、4月20日静岡市のアザレアで開催され、平成30年度の事業報告、決算報告、19年度の事業計画案、予算案が加盟団体代表者が出席のもと審議された。冒頭、滝田会長から本年度から指導者制度が替わり、従来の指導員はコーチ1、上級指導員はコーチ2となり、今年度から新制度での養成が始まる。又、日山協から、都道府県岳連に対し、団体規定を改定し、今後、新規加盟団体は法人でなければならぬとし、既存の岳連は、速やかに法人化するようにとの要請があった。

一般社団法人化を検討へ 岳連名称変更も同時に

た。これは最近のスポーツ界の不祥事を受けて、法人化することにより、ガバナンスの構築を図り、不祥事の防止、組織運営の透明化が可能になるという。岳連も、日山協の意向を受け、先の常任理事会で正副会長、理事長で今年1年かけて法人化の作業を進めることを決めたと説明した。議事は、滝田会長を議長に選任し、審議に入った。

事業報告・決算報告

30年度事業報告では全体的事業報告を理事長から、各専門委員会の報告を委員長から行った。4月の創立70周年記念講演会、祝賀会から始まり、夏山登山教室（甲斐駒ヶ岳）、秋山登山教室（御岳山）、4回の安全登山講習会など指導委員会の報告。遭対委員会では初級・中級レスキュー講習会、競技では国体予選会、ブロック大会、73回国体（福井県）クライ



総会の様子

ミング大会、ボルダリング大会などの競技会開催の報告があった。東海ブロック大会は、三種別ともよく健闘したが、国体出場権は獲得できなかった。国体は、成年男子のみの出場であったが、残念ながら入賞には及ばなかった。

特筆すべき事業は海外委がロシアのエルブルース峰への登山隊の派遣である。隊員7名の全員登頂とロシア山岳連盟との交流登山が実現した。

その他、第12回スポフェス登山大会（秋葉山・京丸山）の開催、19年カレンダー作成・販売、岳連ニュース「宝永」の年4回の発行などが報告された。

決算報告では、一般会計の収入は3団体の退会

で減、個人会員費、還付金が増となり、予算より若干増となった。支出は、旅費の増などあるものの、予算以内に収まり、繰越金は微増した。特別基金は、70年記念誌の印刷、祝賀会の一部の賄いなどの支出により38万円ほど減少した。

事業報告、決算報告は意見、異議なく承認された。

役員の変更

改選期ではないが、高体連の役員改選に伴う常任理事の変更が提案され、前任の伊藤正道氏に代わり難波利行氏（沼津東高・高体連副委員長）が承認された。任期は残任期間の1年である。

事業計画・予算

新規事業の予定はなく専門委員会も前年事業の発展的継続に主眼を置いた計画である。20年カレンダー作成・販売、岳連ニュース「宝永」の発行、山の日記念事業の「写真展」なども承認された。予算では、一般会計の収入・支出とも前年度予算並みで、特別基金についても特別な支出は計上されていない。

スポフェス登山大会

19年度のスポフェスは東部ブロックが担当し、9月21日、22日、富士山村山道を六合目までと須山登山道の散策の2コースを設定。8月19日から申し込みを開始する。

その他

・個人会員の状況
平成30年度は12名、19年度は総会当日までに9名が登録している。

・第58回全日本登山大会が岐阜県で開催される。東海ブロック内の開催であるので参加してほしいと要請があった。

・新入会員の紹介
19年4月から相良ハイキングクラブ（会長 高橋幹雄氏）が加盟した。高橋会長からは15年ほど前に発足したが、中高年から山を始めた会員が多く名前の通りハイキング中心の山岳会ですと会の活動内容を紹介した。（木ノ内高嘉）



3月常任理事会

平成30年3月11日(月)
18時30分から静岡市の静岡労働会館で常任理事会が開催された。

出席者 滝田博之、前川朝夫、木ノ内高嘉、出利葉義次、諸戸明、堀内修、豊田稔、高橋弘、工藤誠志、市川隆夫、兼子猛、内海廣治、加藤敏美、坂田昇（文責）計14名

欠席 清水雄三、望月喜久治、増田浩二、赤堀正、鈴木修、伊藤正道、鈴木重幸、鈴木和也

内容

会長挨拶

①各部門の平成30年度事業無事に終了としました。有難うございました。

②日山協理事会が3月に開かれ、加盟団体の条件などが審議された。

・条件として「法人であること、現在未法人の団体は2年以内に法人化を目指す」、団体名称は「スポーツクライミング」がわかる名称などを要請された。静岡も他県を調査して推進する。

③平成31年度総会の資料

の審議宜しく頼みます。

1各委員会の報告事項

(1) 指導委員会・工藤

① 30年度「雪山教室」

2月23、24日、6名参加で乗鞍高原、上高地で実施、スノーシュー等で楽しんだ。

(2) 「全国理事長会議」の報告・木ノ内

・2月17日東京で「全国理事長会議」が開催された。各岳連に対して2項目の要請有り

①可及的速やかに法人化の要請 ↓ スポーツ不祥事発生の防止の為、組織内のガバナンス強化が必要。

②岳連の名称にスポーツクライミングを入れるよう要請 ↓ オリンピック競技の〆を統括する団体を明確化する。

・静岡県も東海三県（愛知・三重・岐阜）の様子を見ながら進める。

2各委員会の事業計画

(1) 平成31年度 しずおかスポーツフェスティバル登山概要・工藤

① 期日・場所・19年9月21日(土) 22日(日)、富士山村山道、須山道

② 日程、コース、募集

・Aコース ↓ 健脚コース
一般、高校登山部 20名、

・コース、21日 村山浅間神社、村山道、宝永周遊道、六合目 22日 富士山六合目、宝永山、水ヶ塚

・Bコース ↓ 日帰りコース、一般、高校登山部 50名

・コース 22日 吉原駅北口、須走浅間神社、水ヶ塚

(2) 19年度の山の日行事・滝田

① 今年度と同様、市岳連、労山、日本山岳会、県岳連の4団協賛で写真展を開催。テーマは「南アルプスを知ろう」

② 県岳連としては写真展の参加は検討中、写真の募集は手法を検討する（プロジェクト等活用）

・若い人の参加を呼びかけたい。時期は11月頃を予定する。

(3) 国体委員会・諸戸

① 静岡県予選

・4月27日、浜松スクエアCCとB・SPORTで実施。

・その他 東海三県（愛知・三重・岐阜）は予選会を共同で実施、再来年に向け静岡に誘いあり。

・合同のメリット ↓ 役員数削減、費用も削減できる、但し、選手の参加は減少するか？

3 平成31年度通常総会資料検討

(1) 日時・場所・次第
19年4月20日(土) 13時30分「あざれあ」役員は13時までに集合

・各議事担当 ↓ H30年度事業報告・H31年事業計画・各委員長

・開会の辞・前川氏・議長・滝田会長

・決算報告、会計予算・市川氏

・会計監査・豊田氏

・各項目に対して審議、今後の変更は木ノ内理事長まで連絡

(1) 冬山講習会について

① 高校生の参加は雪山への入山が禁止されている為（那須での事故発生の対策の為）参加人員減少

・教師からの要望として「雪山に対する基礎的な訓練を実施したい」との要望が多い。

・スノーシューや雪上でのテント生活等検討中 ⇒ 5月中旬には結論を出したい。

(2) 全日本登山大会

4月常任理事会

平成31年4月8日(月)
18時30分から静岡市の静岡労働会館5F会議室で常任理事会が開催された。

出席者 滝田博之、前川朝夫、木ノ内高嘉、出利葉義次、豊田稔、高橋弘、堀内修、工藤誠志、望月喜久治、増田浩二、赤堀正、市川隆夫、坂田昇、兼子猛、内海廣治、加藤敏美、諸戸明、清水雄三（計18人）

欠席者 鈴木修、難波利行、鈴木重幸、鈴木和也

会長挨拶

① 4月20日実施予定の総会について、よろしくお願います。

② 山岳連盟の法人化を検討している。

各委員会からの報告

① 指導委員会（工藤）

・ハイキング・縦走リードー養成講習会は6月15日実施予定。

② 国体委員会（諸戸）

・本年度よりクライミングの選手登録はB登録か

らA登録とするように指示があった。

その他

①総会の資料を出席者で目を通し、記載の誤りがないか確認した。

②高体連の常任理事を変更する。

③30年度決算について、不明点があるので、この場では承認とせずに再確認する。

③スポーツフェスティバルについて（工藤）

富士山の村山道及び須山道を主会場とする。経費をもう少し抑えられるように検討したい。（記録 清水）



静岡新聞 (19/5/10) より

奈良県内から撮影した、約260キロ離れた富士山に朝日が重なった「ダイヤモンド富士」

第74回国体県予選会

リード スクエア、ボルダ B・S P O Tで実施

本年度の第74回国体（茨城国体）の予選会（兼JOCジュニアオリンピックカップ選考大会）が37名（内ユース5名含む）の参加を得て、4月27日に午前にスクエアでリード、午後にはB・S P O Tに移動してボルダリングが行われた。

競技は、リードの少年男子は、メイン壁の真ん中を超えるルート（12 d（13 a）で、5名の選手が最大傾斜を超え上部壁に入る中、唯一鈴木音生君が、安定した登りをみせ完登。少年女子は、中間部に張りぼての処理を



少年男子リード



成年男子リード

（12 c d）で上部の局面に進出したユースの2名が1位（永嶋さん）、2位（鈴木さん）となった。成年女子は一部ホールドの異なるルート（12 c）で、渡辺さんが思い切りの良い登りで最高到達点を記録した。成年男子は、出だしから厳しいボルダチックなルート（13 c）でリードを得意とする田邊さんが最高到達点を勝ち取った。

その後、B・S P O Tに移動して行われたボル

ダリング競技は4分間オンサイト・4課題のベルトコンベア方式で行われた。少年男子は片桐君が、4課題を唯一全完登し1位で強さを見せた。少年女子では片木さんが3完登4アテンプトで、同じく3完登8アテンプトの永嶋さんが続いた。成年女子は渡辺さんが全課題一撃で力を示し、最後に行われた成年男子は厳しい課題設定で、若宮さんが唯一の3完登で最後を締めた。

セッターをお願いし当日も競技の終わるまで見届けていただいた、瀧浪さんから最近のコンペ課題への対応等についてコメントをいただいて閉会した。



表彰式

毎年会場を提供していただいているスクエアさん、B・S P O Tさん、セットや運営に携わっていただいた方々には大変感謝申し上げます。本年三重県で行われる東海ブロック大会での健闘と代表権の獲得を期待したいと思います。

結果は次の通り、上位3名が表彰選手。（諸戸明）

第74回国体県予選会リザルト

成年男子				成年女子			
1位	田邊 匡律	JR東日本		1位	渡辺亜梨沙	富士宮市役所	
1位	若宮 京介			2位	山崎シズコ		
3位	伊藤 優輝			3位	星野 晶子	ベルの木歯科	
4位	関 翔太	富士宮市消防本部		3位	関 悠希		
5位	原 賢伸	日体大		5位	-		
6位	鈴木 正信	浜松ホトニクス		6位	-		
少年男子				少年女子			
1位	片桐 綾真	浜松工業高		1位	永嶋美智華	焼津市立東益津中	
2位	外岡啓太朗	沼津市立門池中		2位	鈴木 結菜	清水四中	
3位	鈴木 音生	静岡翔洋中		3位	片木 麻音	横浜富士見丘学園高	
4位	鈴木 大翔	焼津市立豊田中		4位	中里 溪夏	裾野西中	
5位	吉永 利行	県立藤枝北高校		5位	廣井 真菜	沼津市立高	
6位	鈴木 滉人	島田市立金谷中		5位	横田はるな	浜松日体高	

日山協競技委員会総会

ジャパンツアー実施、選手登録者に義務研修

4月7日（日）、5月に事務所の移転となる岸

記念体育館にて、全国競技委員会総会が行われた。オリンピックを次年度に控え、本年度は、夏に八王子で実施されるI F S C世界選手権を始めとする日程と東京後の方向性について話がなされた。

特に競技に関しては、本年度よりボルダリング・リード・スピードの各ジャパンカップの出場選考を目的としジャパンツアーが実施される。また、ジャパンツアー及びユース日本選手権の出場は、A登録を必須とする。ただし19年度のA登録に限り、A登録後の義務研修受講を認める。ただし、20年開催のジャパンカップおよびユース日本選手権の出場には、大会前に義務研修受講を必須とする。19年度の義務研修は月1回のペースで全国各地で行っていき保護者を含め多数の来場が可能にすることができるようになるとのことであった。

（諸戸明）



花菖蒲

富士高男女優勝

第67回静岡県高校総体登山競技

全国総体

アベック出場

今年度の高校総体登山競技は県中部の竜爪山を会場として5月25日、26日に実施された。男子18校、女子7校が、全国総体、東海総体への出場権をかけて熱い戦いを繰り広げた。25日は竜爪中学校にて開会式に続き筆記試験、天気図審査が行われた。その後、登山行動で梶原山、一本松を経由して幕営地の北沼上小学校までのコースを歩いた。5月としてはあり得ないほどの猛暑で、熱中症が



富士高男子チーム

心配されたが、各校ともスタート前に十分水分補給をするなど対策に努め

この期間の沼平からの入山者は、計47パーティで、男性64名、女性13名

南ア春山相談所開設

沼平指導センター

計77名であった。内訳は、茶臼岳・光岳方面が25パーティ、聖岳方面が7パーティ、赤石岳方面が9パーティ、青蘆山などその他が6パーティで、前半が

登山道が台風で茶臼岳方面はつり橋が三か所流され仮橋となっていたり、聖岳方面は出会い所小屋跡の下が崩れまき道になっ



少なく後半は多く、全体では昨年と比較すると5分の3で少なかった。



優勝した富士高チーム

0.1点差で涙を吞んだ富士が、圧倒的な強さをみせ、2年ぶりに全国への切符を手にした。富士が8月に宮崎県祖母山系で開催される全国高校総体に、初のアベック出場となった。藤枝東が男女とも2

なかつたようである。今年の積雪は例年より

位となり、男子3位の葦山、女子3位の富士宮西とともに、6月に満観峰、高草山で行われる東海大会へ出場する。入賞した学校は以下の通りである。（男子は6位まで、女子は4位までが入賞）

（清水雄三）

【男子団体】

1位 富士、2位 藤枝東、3位 葦山、4位 静岡、5位 静岡東、6位 浜松北

【女子団体】

1位 富士、2位 藤枝東、3位 富士宮西、4位 葦山

入賞したチームの総合成績表は次の通り。

種別	学校	行動		生活			知 識						態 度 マナー (5)	合計得点 (100)	順位
		体力 (40)	歩行 (10)	装備・服装 (5)	設営 (5)	炊事 (5)	天気 (4)	知識 (12)	読図 (9)	植生 (1)	計画 (2)	記録 (2)			
男子	富士	39.2	10	5.0	4.6	5.0	4.0	11.9	9.0	1.0	2.0	2.0	4.0	97.7	1
	藤枝東	38.5	10	5.0	4.7	5.0	3.5	11.3	8.5	1.0	2.0	1.8	4.0	95.3	2
	葦山	35.6	10	5.0	4.9	4.8	3.2	11.7	7.5	1.0	2.0	1.7	3.0	90.4	3
	静岡	32.4	9.7	5.0	4.2	4.8	2.4	11.2	6.5	1.0	1.8	1.4	4.0	84.4	4
	静岡東	31.3	9.8	5.0	4.6	5.0	2.8	10.8	6.0	1.0	2.0	1.4	4.0	83.7	5
	浜松北	31.6	9.5	4.8	4.6	5.0	3.0	11.0	7.5	0.8	1.6	1.2	3.0	83.6	6
女子	富士	40.0	10	5.0	4.8	5.0	3.8	11.9	8.5	1.0	2.0	2.0	5.0	99	1
	藤枝東	37.2	10	5.0	4.5	5.0	3.7	11.8	8.0	0.8	2.0	2.0	3.0	93	2
	富士宮西	37.2	9.8	5.0	4.6	5.0	3.1	10.8	8.0	1.0	2.0	2.0	3.0	91.5	3
	葦山	36.6	9.7	5.0	4.6	4.8	2.7	11.1	8.0	0.8	2.0	1.6	3.0	89.9	4